

平成28年5月

平成28年	1月	～	3月期	実績
平成28年	4月	～	6月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

目 次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

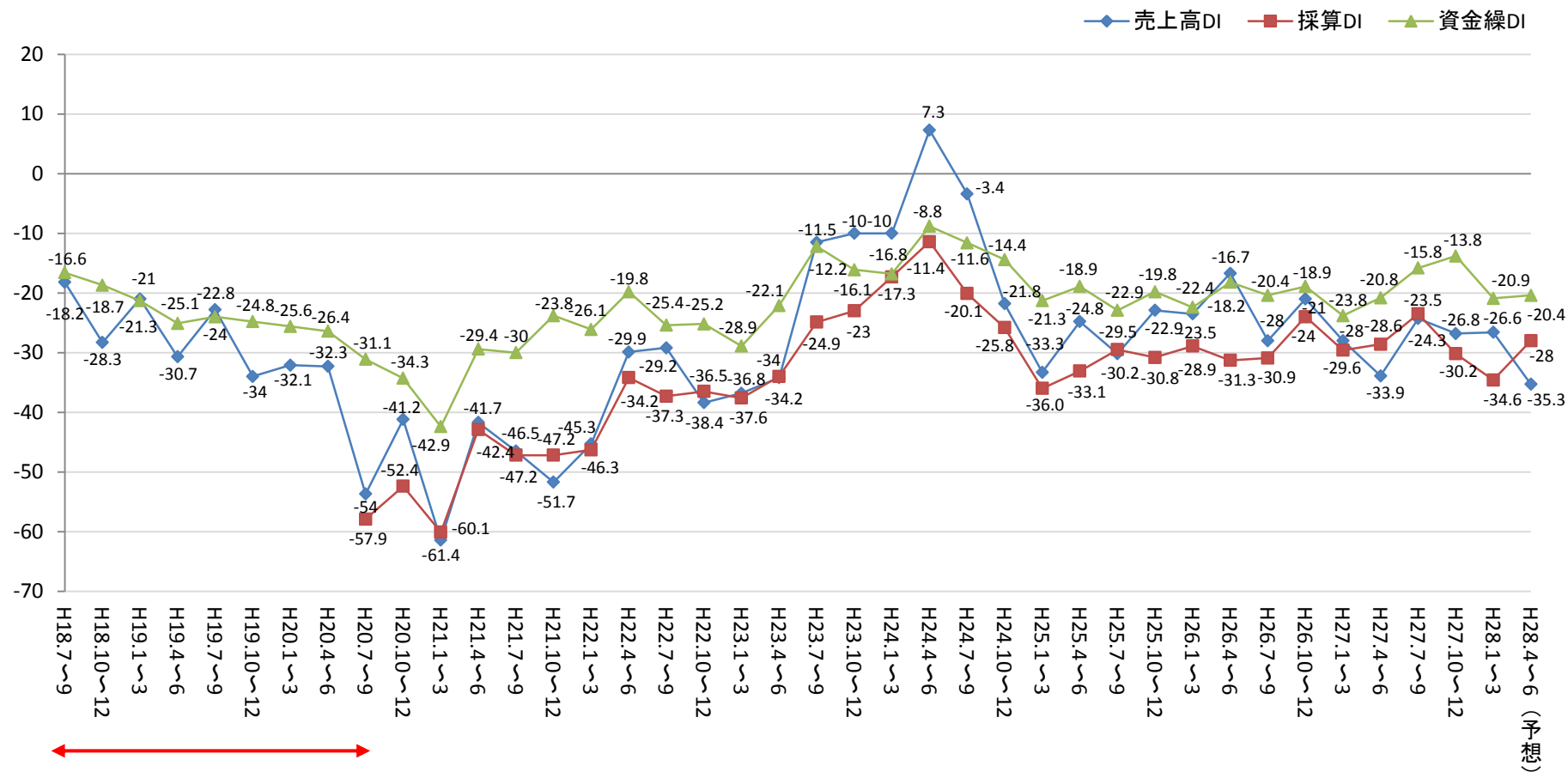
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。





































[岩手県 産業全体]






主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成26年			平成27年			平成28年			(見通し) 平成28年 4~6月
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
製 造 業	 薄曇	 薄曇	 曇	 曇	 雨	 薄曇	 曇	 曇	 曇	
建 設 業	 快晴	 薄曇	 薄曇	 曇	 雨	 雨	 曇	 曇	 雨	
小 売 業	 雨	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	
サ ー ビ ス 業	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雨

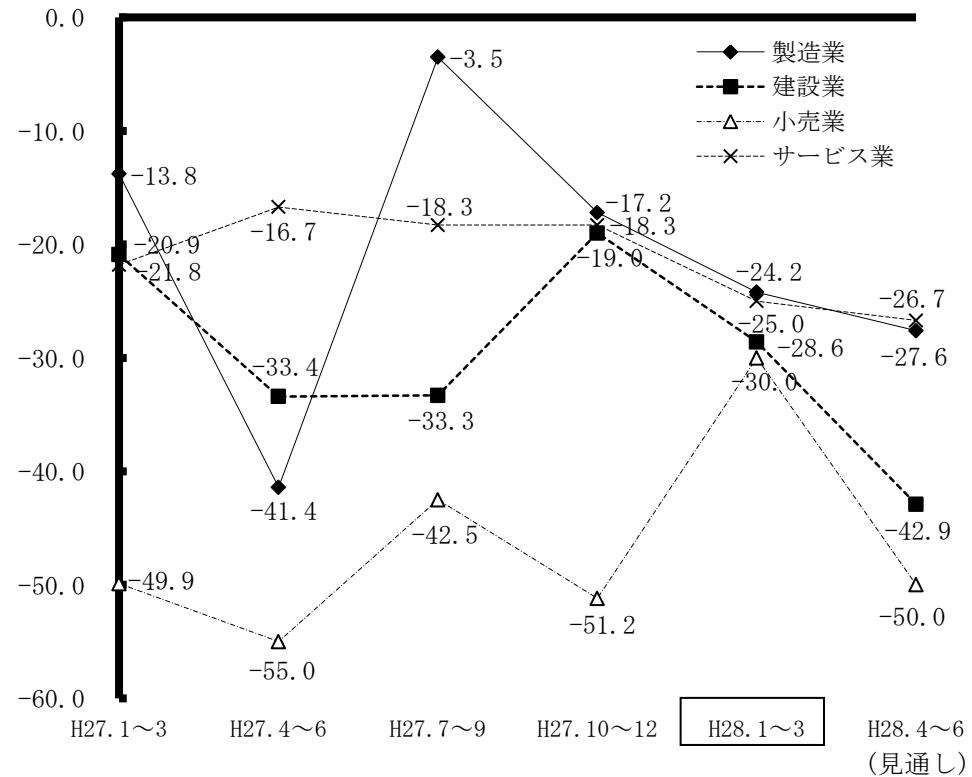
全産業の推移

売上高

小売業以外は悪化傾向

今期は、製造業が2期連続の悪化となり、7ポイント減少の△24.2となりました。また、建設業も9.6ポイント減少の△28.6、サービス業も6.7ポイント減少の△25.0となり悪化しています。小売業においては、21.2ポイント上昇の△30.0まで回復しています。

来期は、製造業、サービス業において小幅な悪化、建設業、小売業においては大幅な悪化の見通しとなっています。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

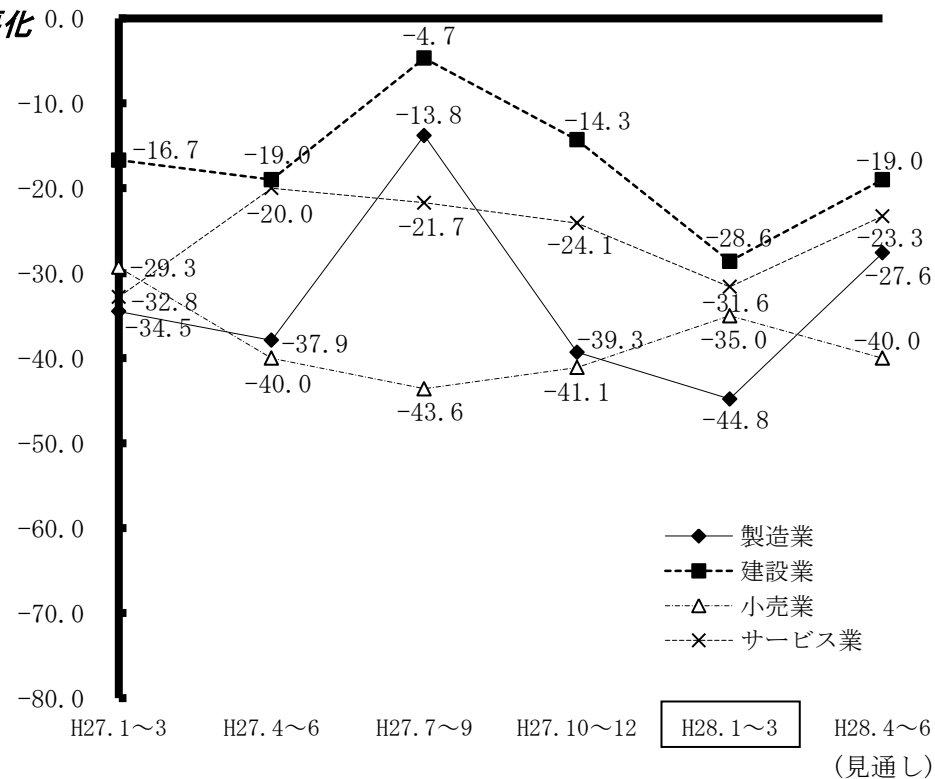
採算

建設業、サービス業、製造業の採算が2期連続悪化

今期は、小売業で、6.1ポイント改善しました。

建設業では14.3ポイント減少し△28.6、サービス業では7.5ポイント減少の△23.3、製造業も3.7ポイント減少の△37.9となり、この3業種では2期連続の悪化となりました。

来期は、小売業において悪化を見込んでいるものの、その他の業種では改善する見通しとなっています。



※採算は各業種とも経常利益

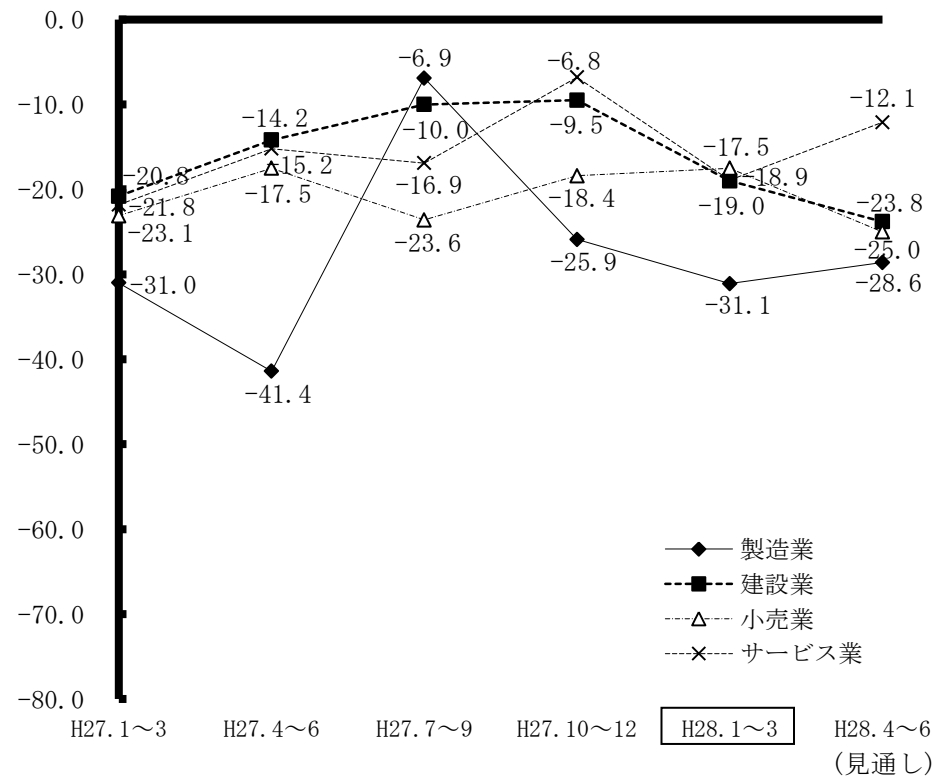
全産業の推移

資金繰り

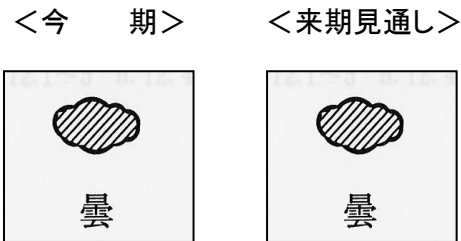
小売業で小幅に改善。
その他の業種では、悪化傾向

今期は、小売業において0.9ポイント上昇し、△17.5まで回復したものの、サービス業が12.1ポイント減少の△18.9、建設業では9.5ポイント減少の△19.0、製造業においても5.2ポイント減少の31.1となりました。

来期は、サービス業、製造業で改善が見込まれるものの、小売業、建設業では悪化となる見通しです。

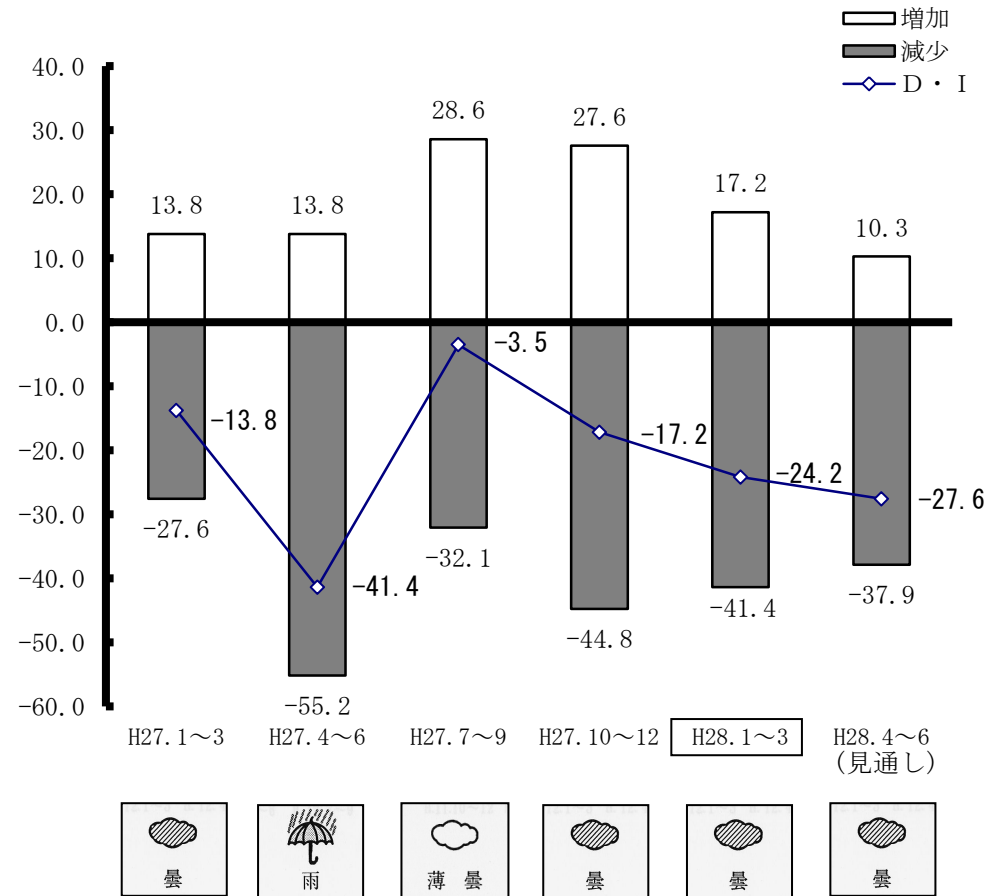


売上高



今期は、売上高増加企業・売上高減少企業がともに減少しました。売上高D・Iは7ポイント減少の△24.2となり、2期連続の悪化となりました。

来期は、売上高の増加を予想する企業が引き続き減少し、売上の減少を予想する企業も減少が見込まれています。売上高D・Iは△27.6と小幅に悪化する見通しです。



製造業の推移

採算

<今 期>

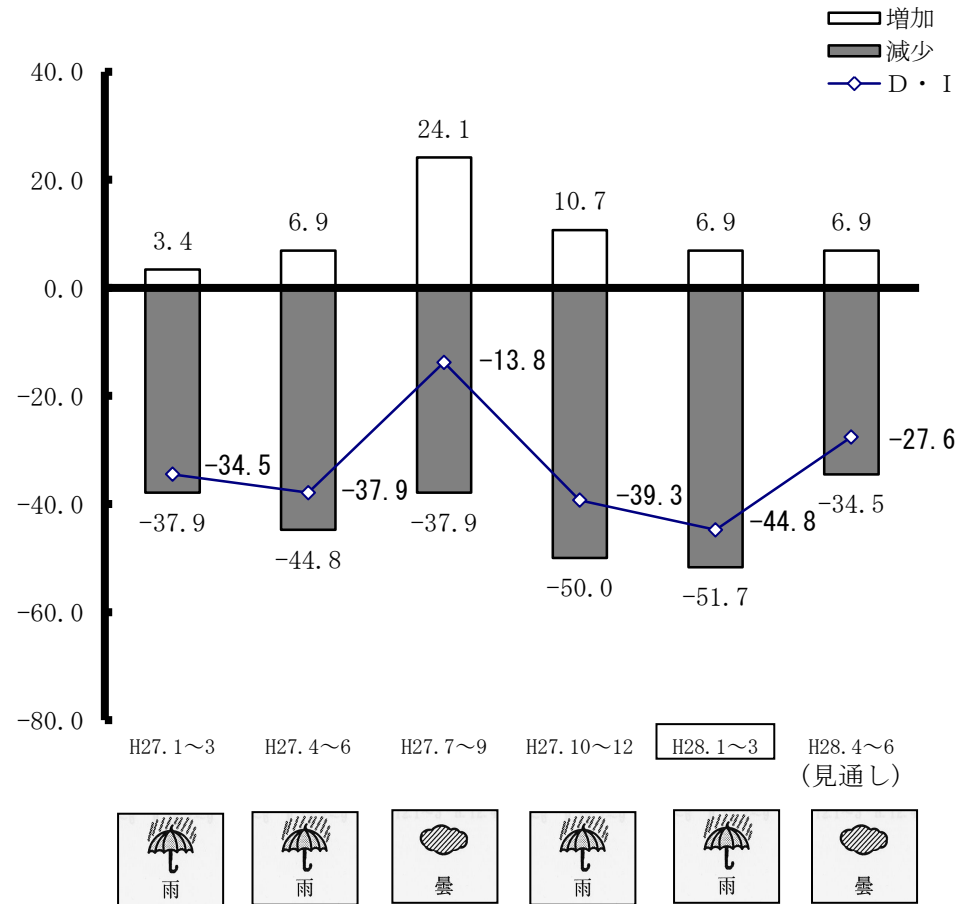


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が2期連続して減少、採算が悪化した企業の割合が2期連続して増加しました。採算D・Iは5.5ポイント減少し△44.8まで悪化しています。

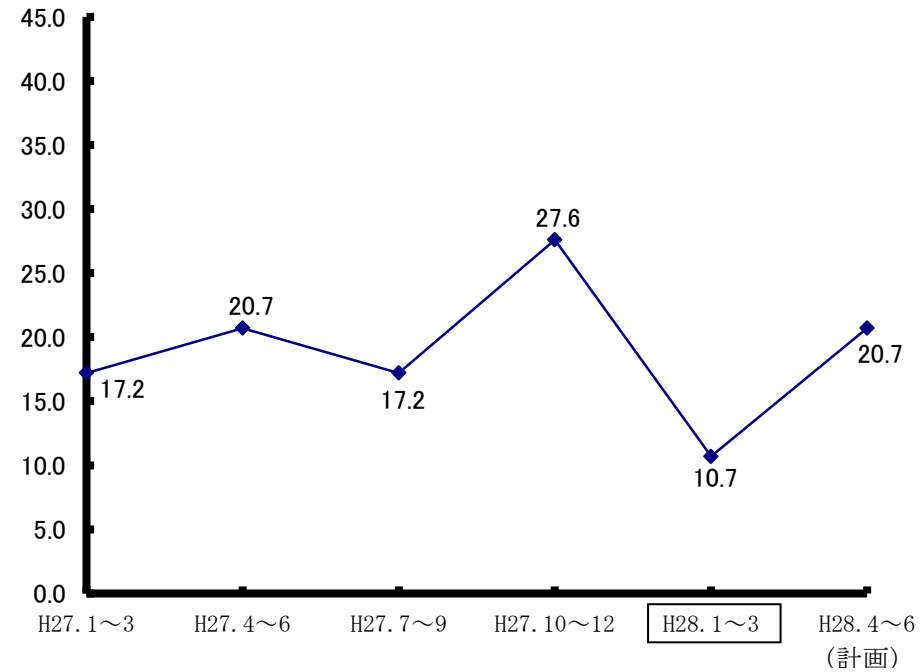
来期の採算D・Iは、採算の改善を予想する企業は横ばいであるものの、採算の悪化を予想する企業が減少することから、採算D・Iは△27.6まで改善する見通しです。



設備投資

今期は、設備投資を行う企業は大幅に減少し、10.7にとどまりました。

来期は、採算D・Iの改善が予想されており、設備投資も増加が見込まれています。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

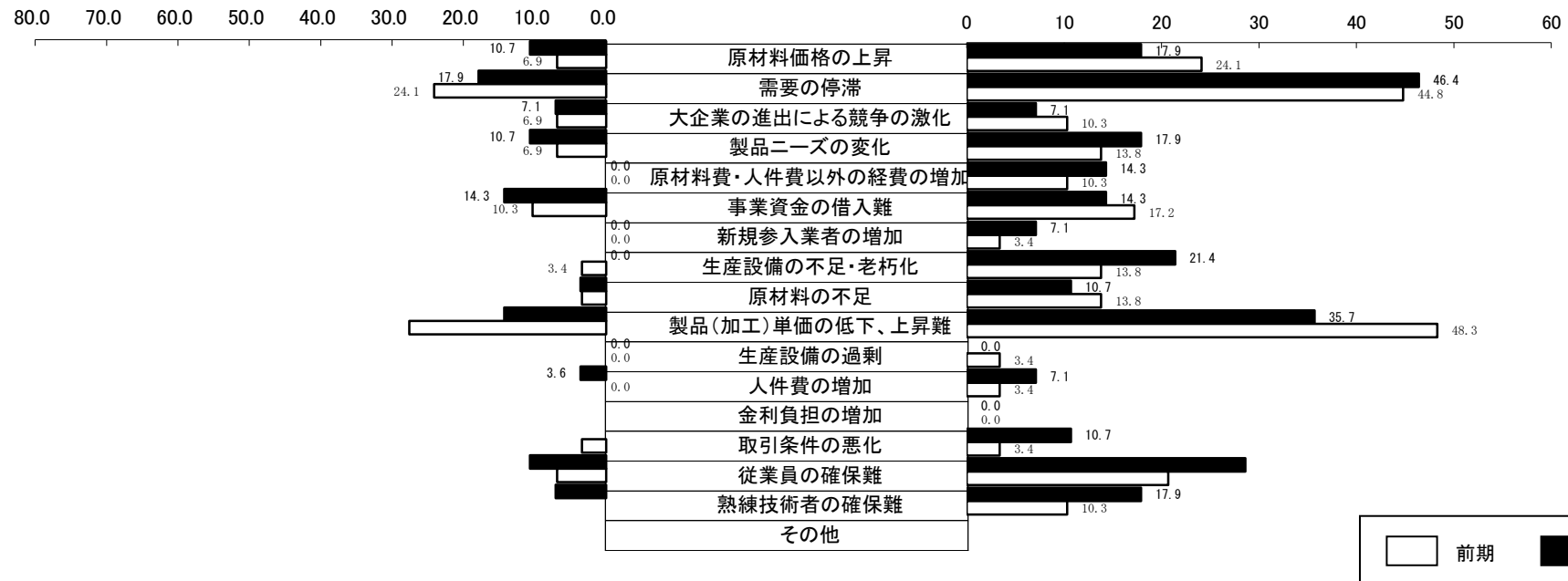
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛:%)



建設業の推移

売上高

<今 期>

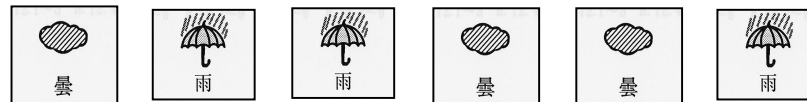
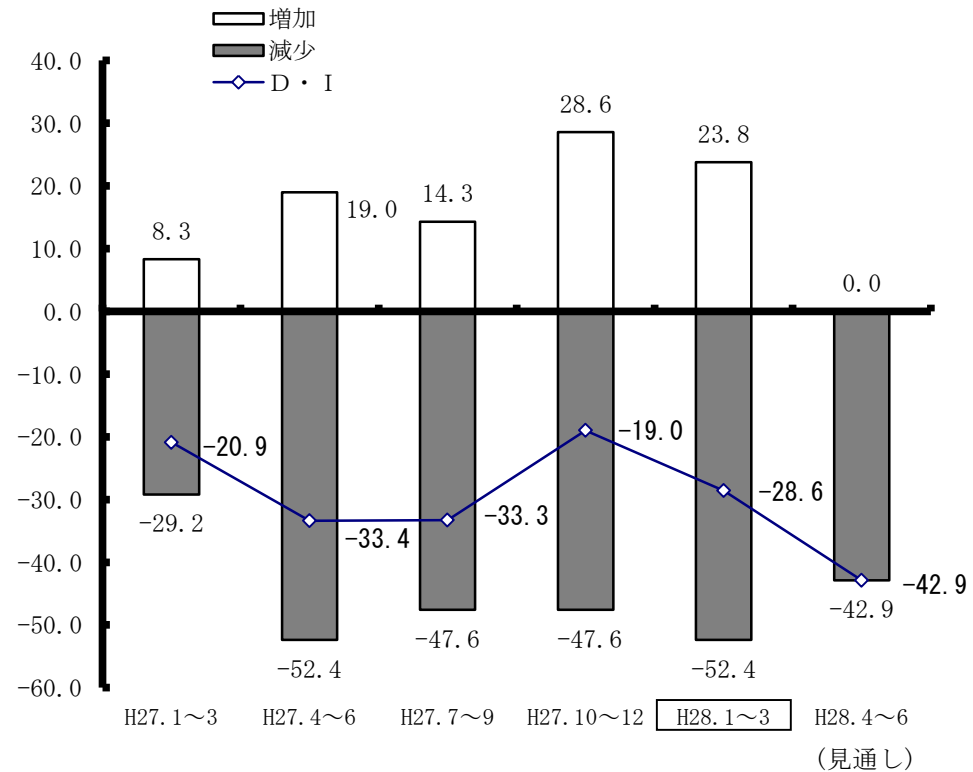


<来期見通し>



今期は、売上高の増加を挙げた企業の割合が減少し、売上高減少企業が増加に転じたことから、売上高 D・Iは9.6ポイント減少の△28.6まで悪化しました。

来期は、売上高の減少を予想する企業は今期より減少するものの、増加を予想する企業がなかったことから売上高 D・Iは△42.9まで悪化する見通しとなっています。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

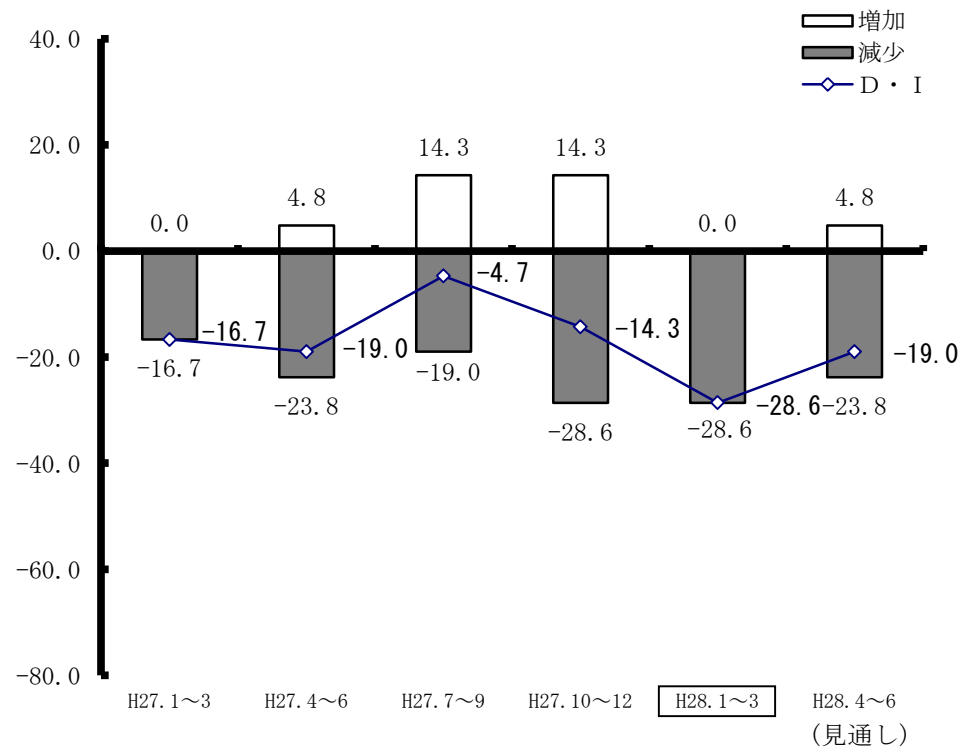


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業がなくなり、採算が悪化した企業が横ばいであったため、採算D・Iは14.3ポイント減少の△28.6まで悪化しました。

来期は、採算の悪化を予想する企業が減少し、採算の好転を予想する企業が増加することから、採算D・Iは、△19.0まで改善する見通しです。



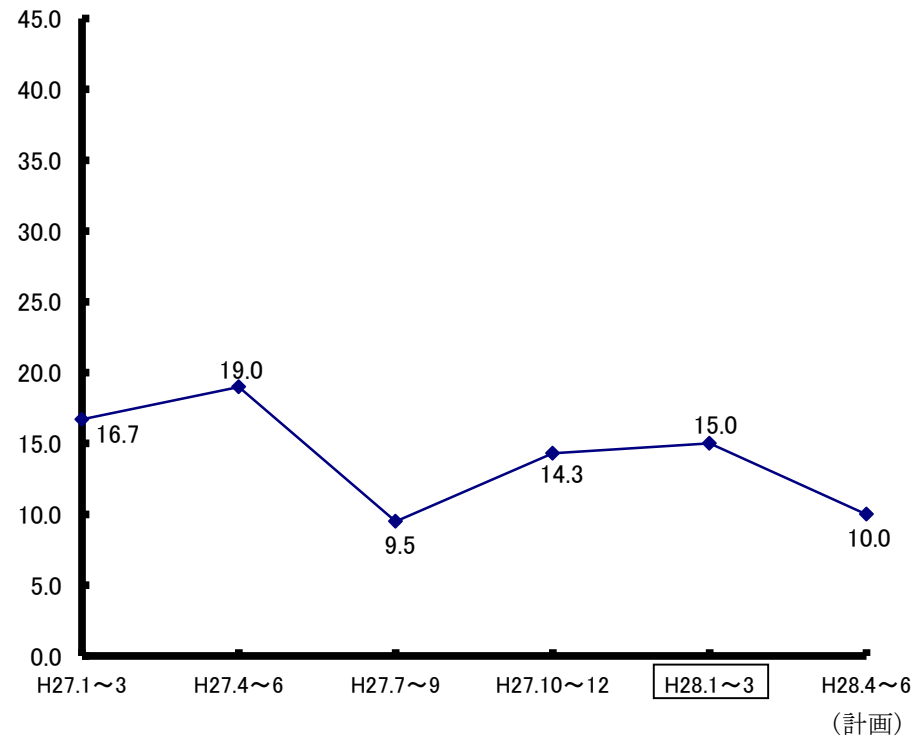
建設業の推移

設備投資

今期は、設備投資を実施した企業が小幅ながら増加し、2期連続の増加となりました。

来期は、設備投資を予定する企業が減少に転じ、10.0まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

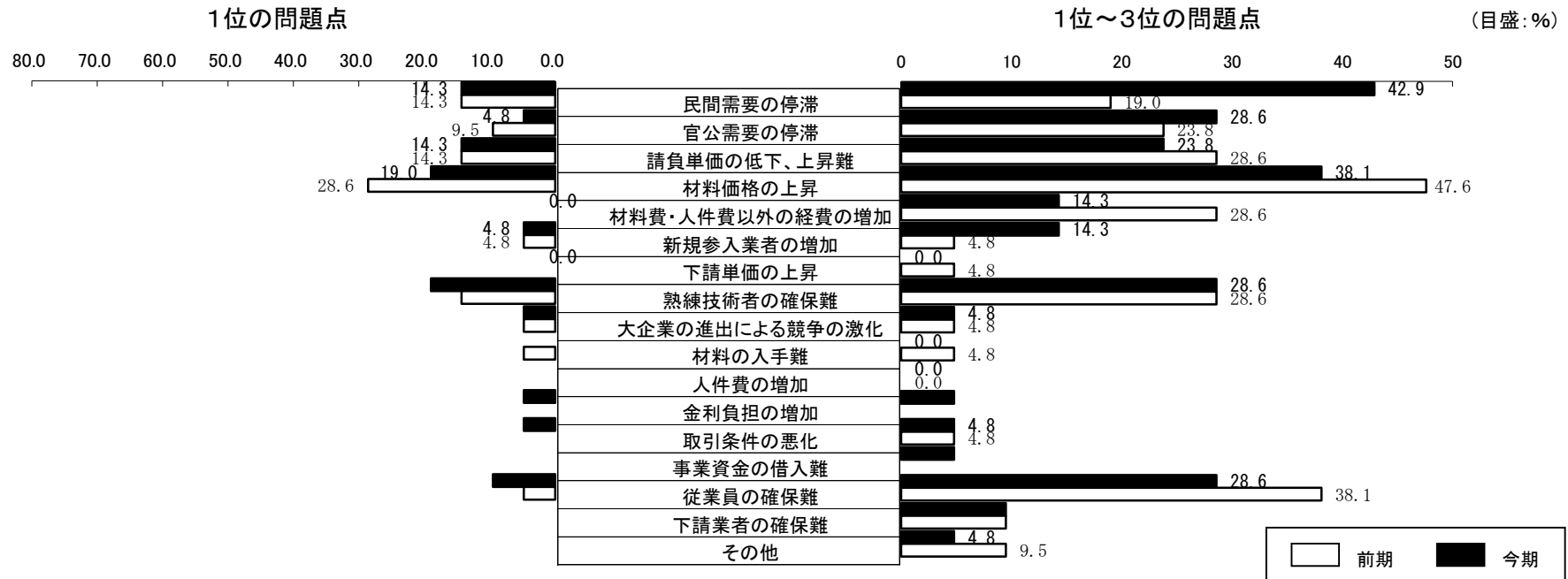


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小売業の推移

売上高

<今 期>

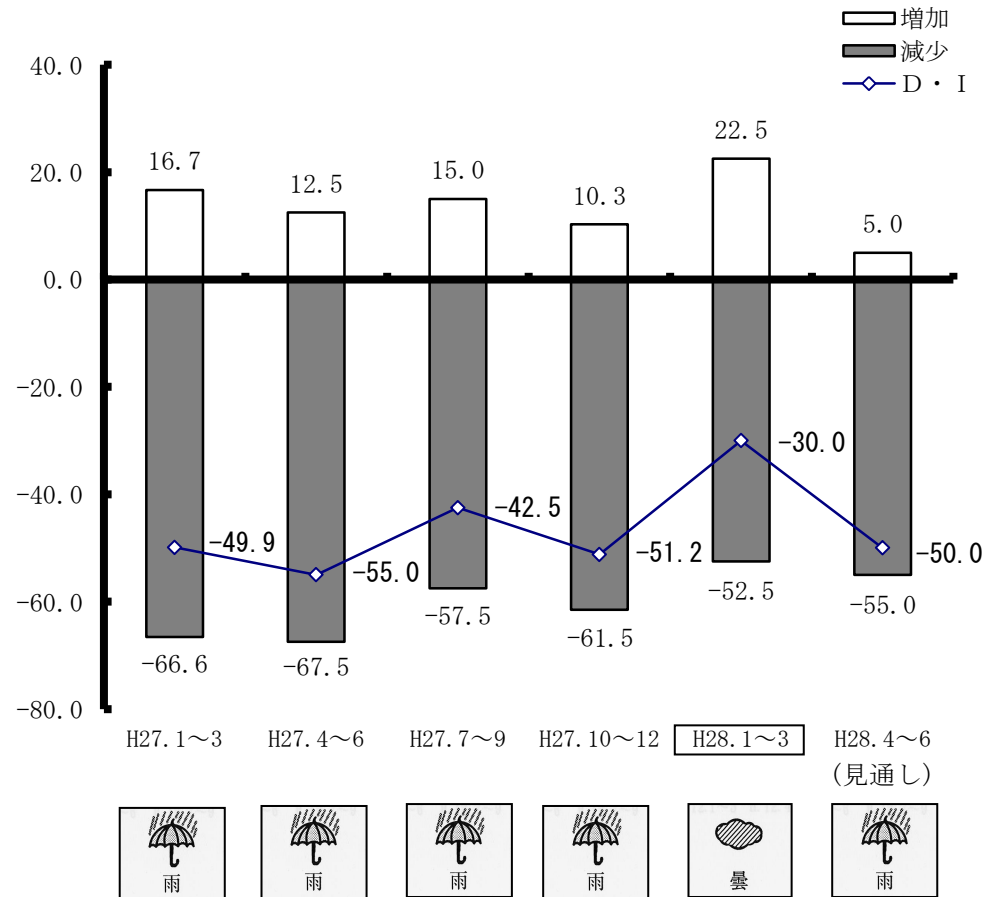


<来期見通し>



売上高増加企業が大幅に増加し、売上高減少企業も減少したことから、売上高D・Iは21.2ポイント上昇し、△30.0まで回復し、天気図は雨から曇りへと変化しました。

来期は、売上高増加を予想する企業が大幅に減少し、売上高減少を予想する企業も増加するため、売上高D・Iは、20.0ポイント減少の△50.0となり再び悪化する見通しです。



小売業の推移

採算

<今 期>

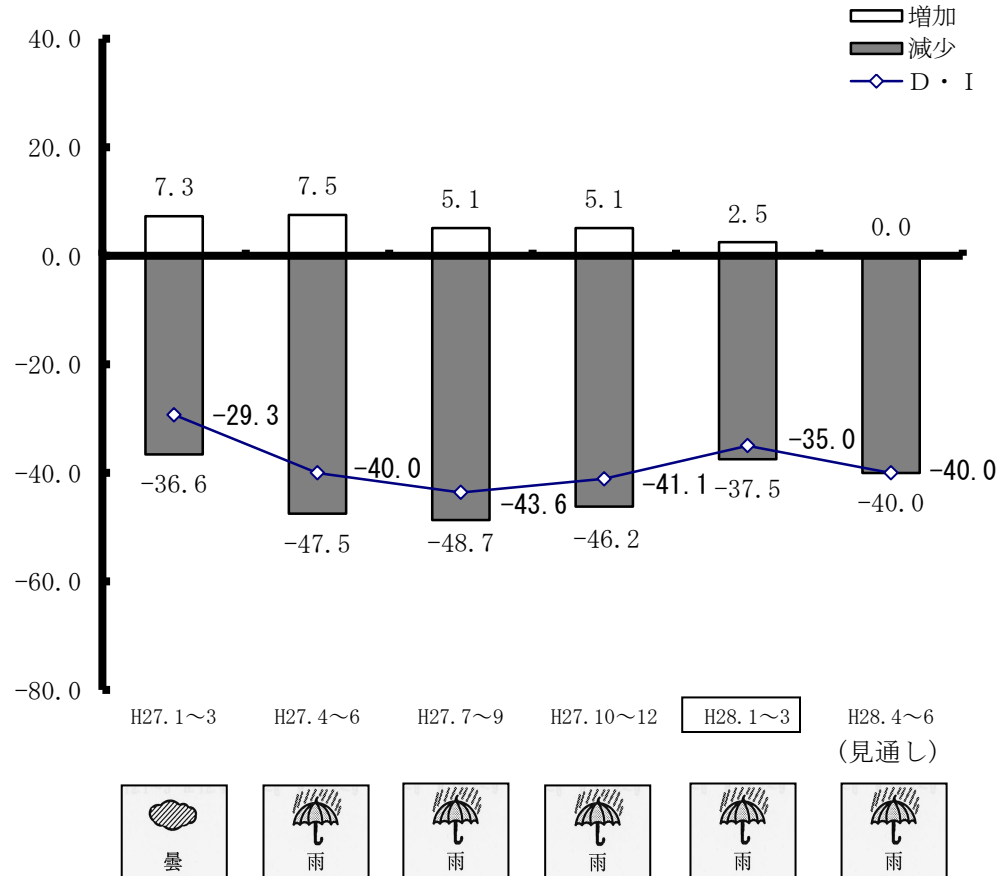


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業が減少したものの、採算が悪化した企業も減少したため、採算D・Iは6.1ポイント上昇し、△35.5となりました。

来期は、採算の好転を予想する企業がなくなり、採算の悪化を予想する企業が増加することから、採算D・Iは△40.0となり再び悪化に転ずる見通しです。

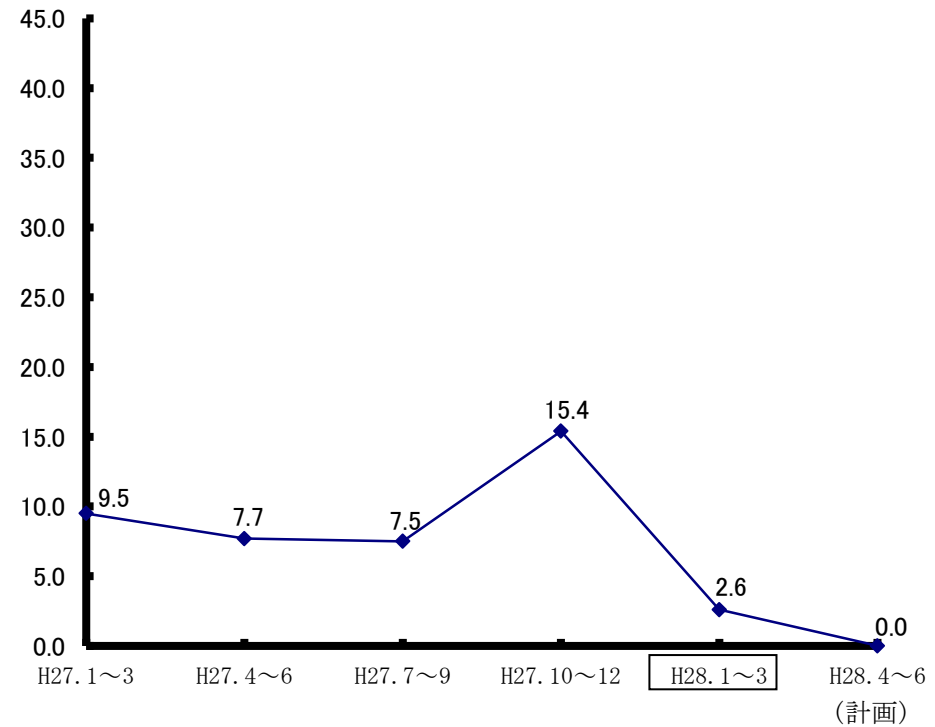


設 備 投 資

今期に設備投資を実施した企業は大幅に減少し、2.6の低いレベルにとどまりました。

来期は、設備投資を計画している企業が今期に引き続き減少し、0.0まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

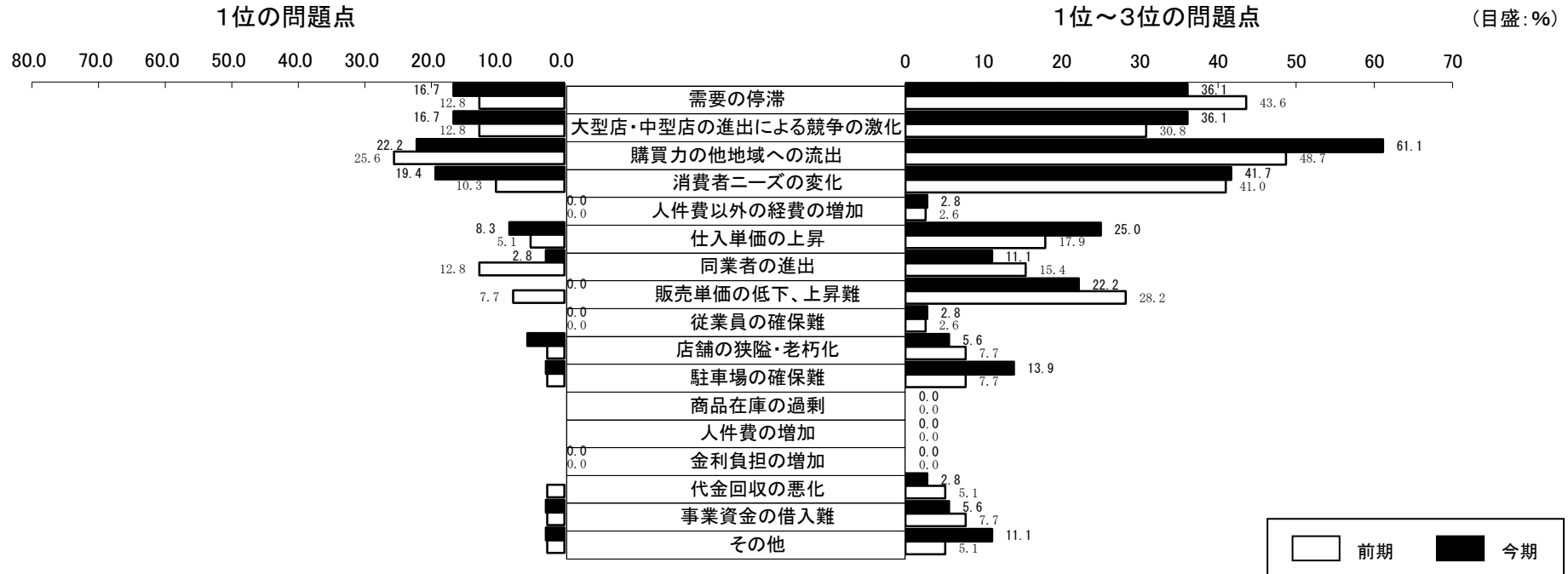


小売業の推移

経営上の問題点

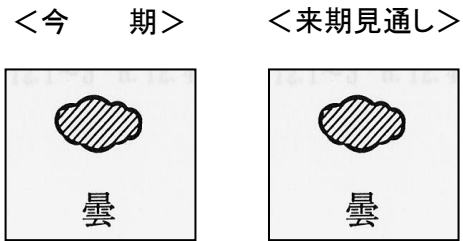
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



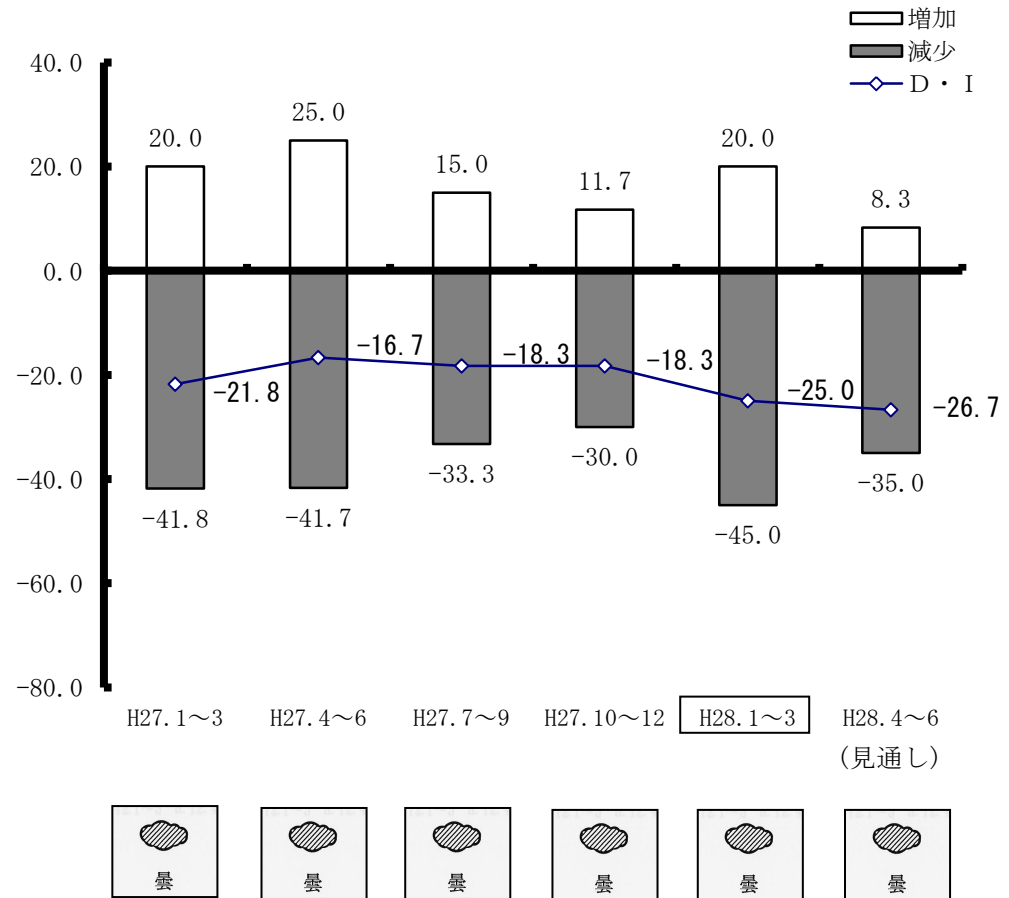
サービス業の推移

売上高



今期は、売上高増加企業は大幅に増加したものの、売上高減少企業も15.0ポイント増加したため、売上高D・Iは、6.7ポイント減少し、△25.0まで悪化しました。

来期は、売上高増加を予想する企業が減少するものの売上高減少企業も減少し、売上高D・Iは△26.7となり小幅な悪化にとどまる見通しです。



サービス業の推移

採算

<今 期>

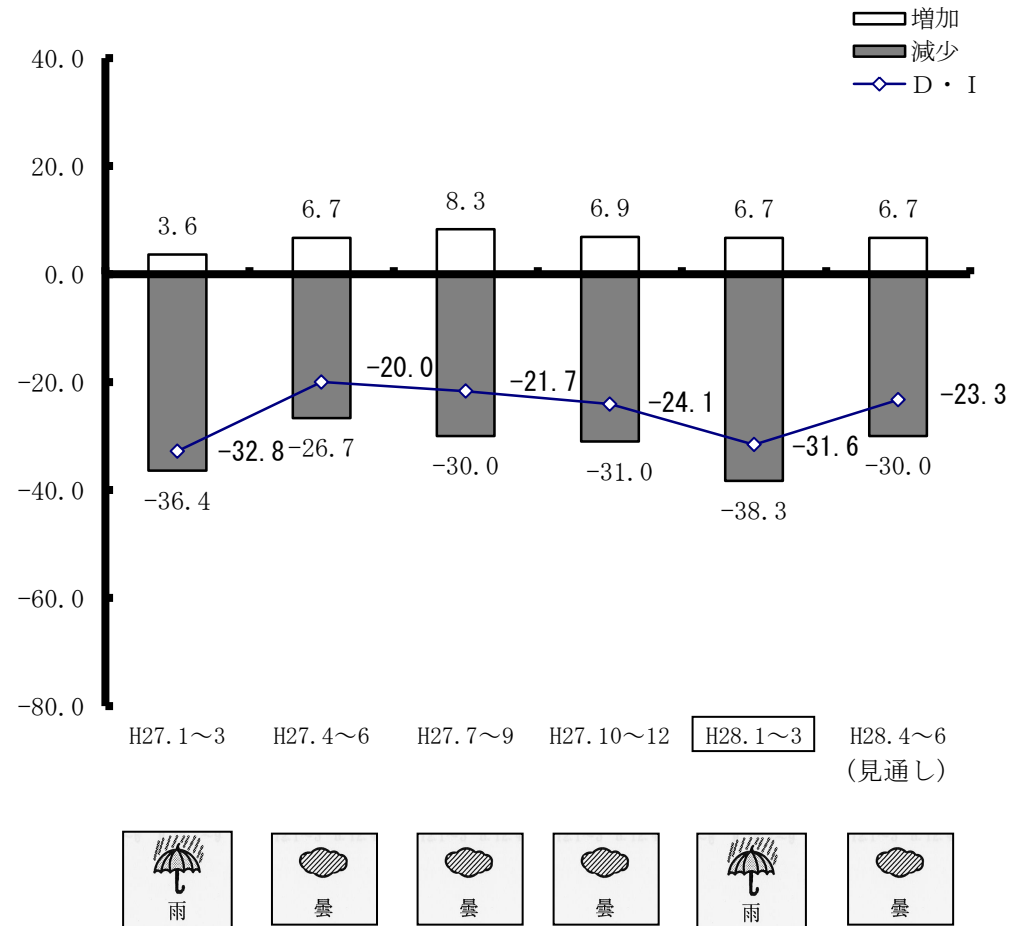


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業がほぼ前期と横ばいだったものの、採算悪化企業が増加したことから、採算D・Iは7.5ポイント減少し、△31.6まで悪化し、景況天気図も曇りから雨へと変化しました。

来期は、採算の好転を予想する企業が横ばい、採算の悪化を予想する企業が減少する見込みで、採算D・I値は△23.3まで回復する見込みです。

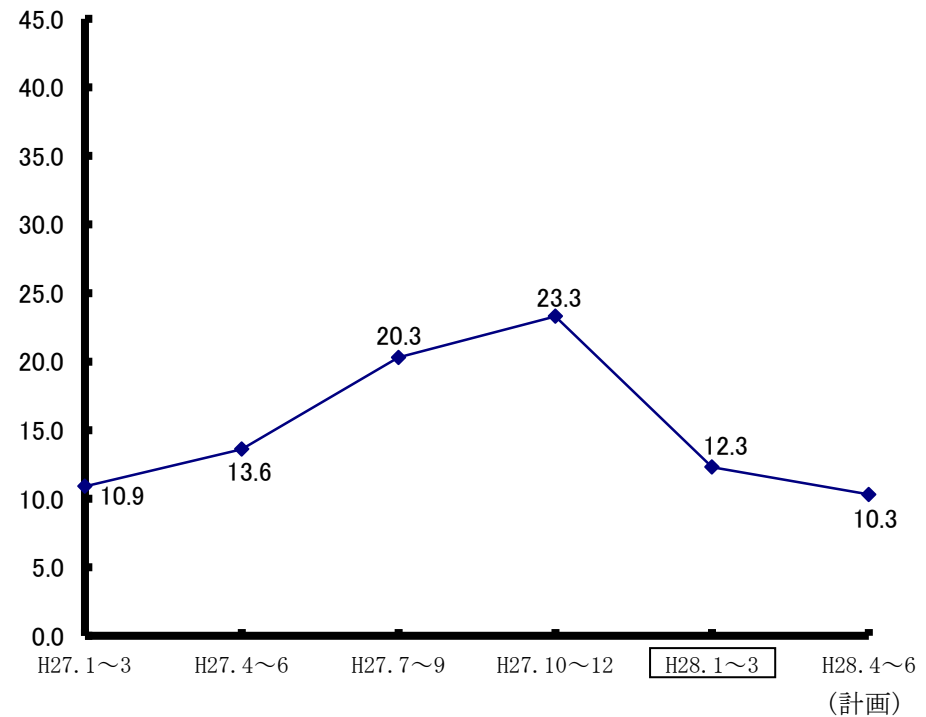


設備投資

今期は、3期連続して増加してきた設備投資を実施した企業の割合が減少に転じ、11ポイント減少して12.3となりました。

来期も、引き続き設備投資を実施する企業の割合は減少が見込まれ、10.3の低い水準にとどまる見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

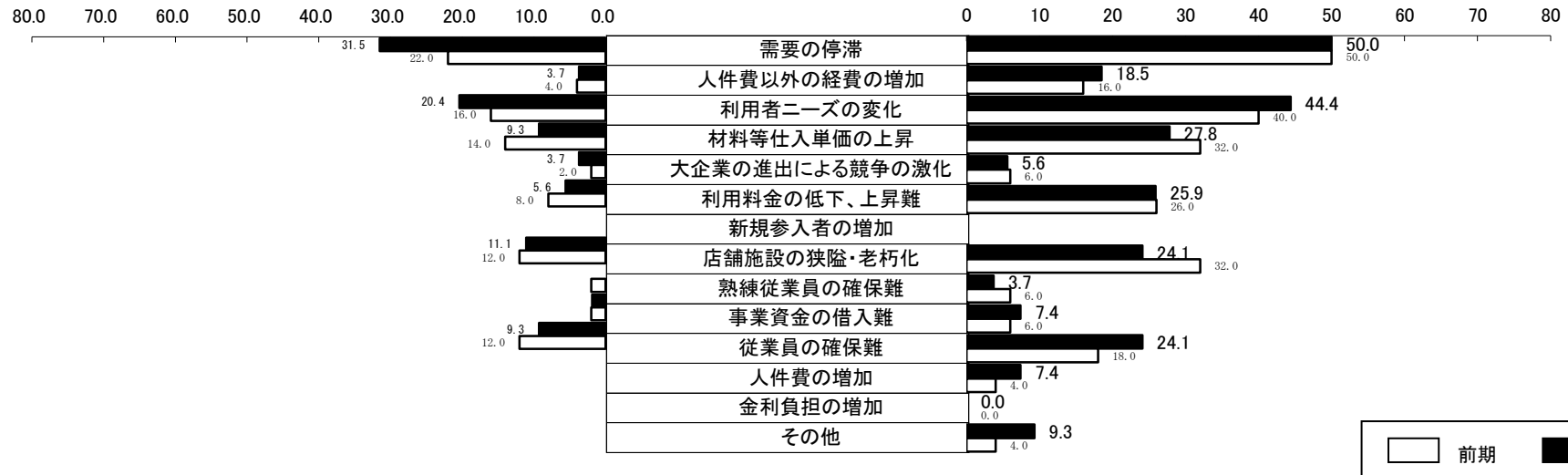
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

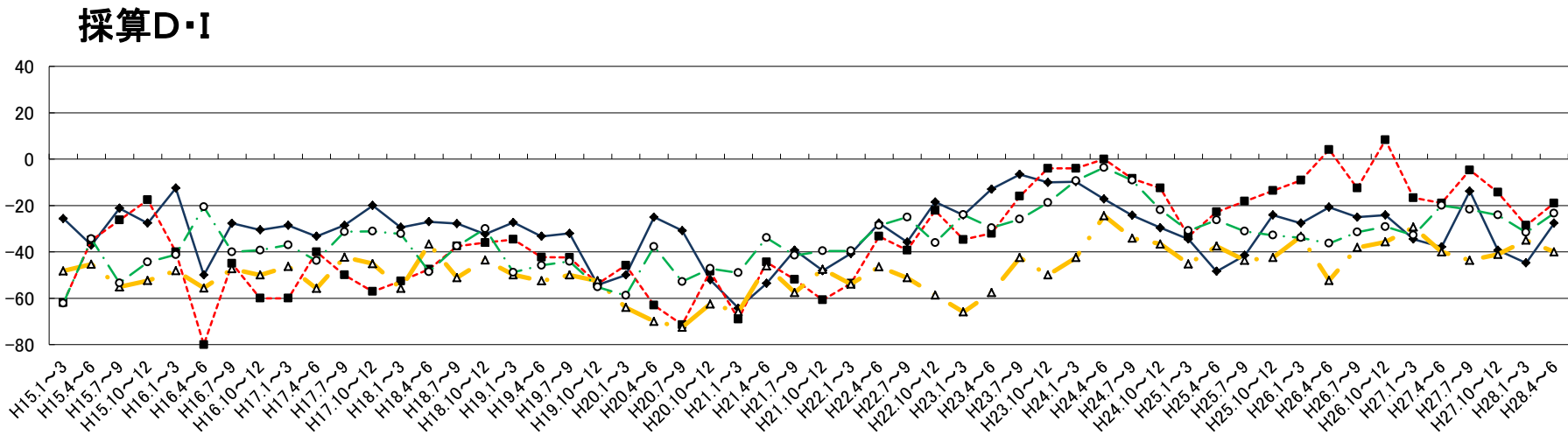
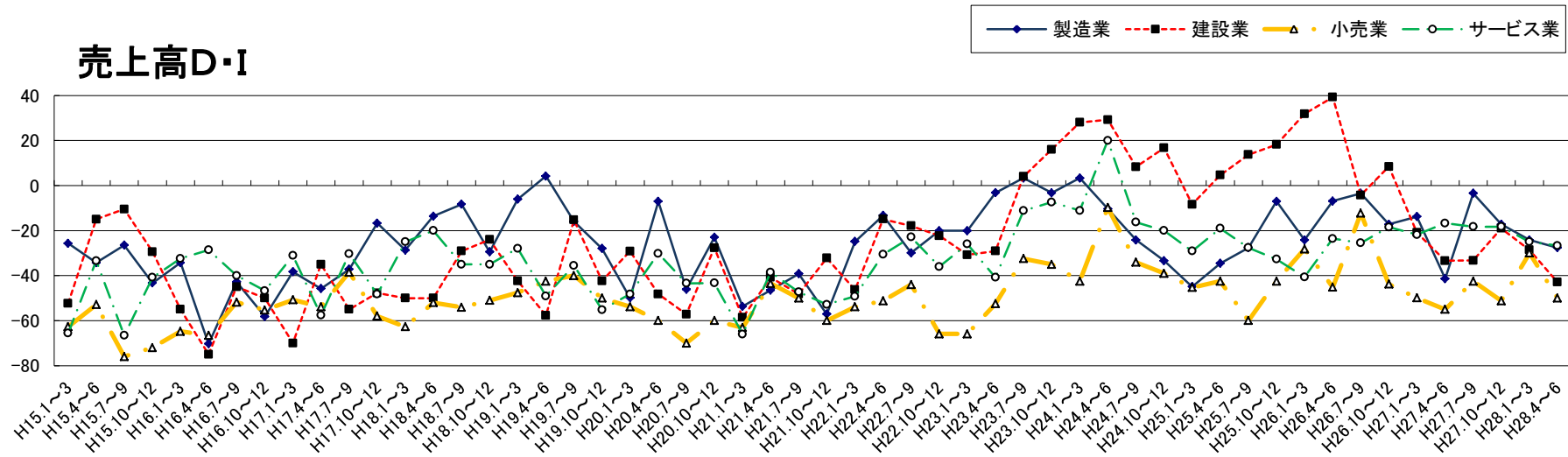
1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町
(商工会名) 紫波町、金ヶ崎町、岩泉、軽米町、野田村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成28年1月～3月を対象とし、調査時点は平成28年3月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		29 (19.3)	29 (19.3)	100.0
建設業		21 (14.0)	21 (14.0)	100.0
小売業		40 (26.7)	40 (26.7)	100.0
サービス業		60 (40.0)	60 (40.0)	100.0
		150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。